

【熱中症で炎症が立ち上がるときに細胞で起きていること】

埼玉慈恵病院 副院長 藤永 剛



熱中症の重症化は「細胞のダメージ」→「炎症の立ち上がり」→「炎症の暴走」という流れで起こる

熱中症の炎症ドミノが止まりにくいのは、その中に炎症を加速させる“ループ”が組み込まれているからです。

傷ついた細胞は「危険信号」を出して炎症を呼び起こします。
するとその炎症が、さらに別の細胞を傷つけ、新たな危険信号を生み出します。

つまり、
「細胞のダメージ → 炎症 → さらに細胞のダメージ → 炎症」
という“炎症のループ”が回り続ける状態になります。

このループに入ると、ドミノ倒しは一気に加速し、
体の中で炎症が広がり続け、自力では止めにくくなってしまいます。

2026.3.28